和田っ子通信

令和５年度　　Ｎｏ．６
福井市和田小学校だより
発行日　令和５年１０月　２日(月)
〒918-8238　福井市和田 1-2-1
TEL:22-8817　FAX:22-6121

すず風、虫の音、色づく木々　秋爛漫

秋涼の候。ひと月前の暑さが嘘のように収まり、天高く雲ひとつない秋晴れが続くようになり、何をするにも爽やかで心地よい時期となりました。先日大きな行事の一つである「秋季校内体育大会」は、４年ぶりに全校児童が集う形で行われ、盛況なうちに終わりました。１学期も残り１週間あまりとなり、５～６日には、保護者懇談会を行います。夏季休業を経た後のお子さまの様子や変容、１学期を通しての成長についてお話ができればと思います。

保護者および地域の皆様には、さまざまな面から本校の教育活動をご支援いただいており、厚く御礼申し上げます。２学期もまたご協力をよろしくお願いします。　(文責：勝木)

ある日の出来事から

みんなで稲刈りをしました　～５年生総合　「稲刈り体験」～

９月８日、５年生が「一乗あさくら水の駅」にある田んぼで稲刈りをしました。ここは、５月に福井市食のＰＲ大使であるＥＸＩＬＥの橘ケンチさんと田植えをした田んぼです。あれ以来、児童は学校でバケツに植えた稲を観察してきましたが、久々にみる田んぼは、たくさんの稲穂が風になびき、実りの秋を感じる児童が多かったようです。児童は、鎌で稲を刈ったり、稲束を乾燥させるために稲架（はさ）にかけたりしました。

秋を感じさせる涼風が心地よかったです。

心肺蘇生法について体験しました　～５年生・６年生　９月発育測定～

９月９日は「救急の日」です。我が国では、この日を含む一週間（令和５年９月３日(日)から９月９日(土)まで）を「救急医療週間」とし、救急医療の普及、啓発活動を行っています。

本校では、９月の発育測定時に、高学年が心肺蘇生法について学習･体験をしています。５年生は、簡易キットを使って、胸部圧迫法の練習をしました。また、６年生は、ＡＥＤを使った心肺蘇生法について学びました。

その場面に出会う機会は、なかなか多くないと思いますが、万が一のときのために必要とされる技術です。今回が初めての児童もいたことでしょう。今後、いろいろな場で経験を積んでほしいと思います。

廊下の歩き方について実証実験中です　～児童会　生活委員会の取組～

９月８日から広い廊下の真ん中に、折り鶴や紙風船など折り紙作品が一列に並べられました。不思議に思って、先生方に尋ねたら、どうも生活委員会の取組のようでした。担当の先生に聞くと、委員会のときに、「廊下を静かに右側を歩いてもらうには」というテーマで話し合ったところ、ある児童が、他の学校で取り組まれた実践を、インターネットで調べてきて提案したものであることが分かりました。しかも、本校でも活用できるか試しているのだそうです。

主体的に学校生活を改善しようという児童の姿に感動しました。今後もそんな取組が増えることを望んでいます。

まずはドの位置、吹き方から･･･　　～１年生「鍵盤ハーモニカ講習会」～

９月１３日、１年生の「鍵盤ハーモニカ講習会」が開かれ、講師の先生から鍵盤ハーモニカの準備や吹き方、片付け方などを教わりました。いわゆる低学年の楽器を使った学習『器楽』の始まりです。学習の中でドの位置を教えてもらった後、強弱をつけたり、４拍子のリズムを刻んだりしながら吹いていました。

最後に、救急車や番組の曲など、先生の奏でるメロディーのクイズで楽しみました。

ニュースポーツを体験したよ　　～６年生「小学校スポーツフェスタ」～

４年ぶりに開かれた福井市の連合体育的行事は、福井市小学校スポーツフェスタ（スポフェス）と名を変え、「競争」から「学び・体験」を重視した内容を行うことになりました。６年生は、９月２１日午前の部に参加しました。

まず、速くなる走り方のコツを、実業団陸上競技チームの村田和哉さんに教えていただき、実際に４００ｍトラックで練習をしました。次に、ニュースポーツ体験では、フライングディスクとスティックリングのどちらかを体験しました。歓声が上がるくらい、ニュースポーツを楽しんでいました。

秋晴れのもと、歓声が響きました　　～令和５年度　秋季校内体育大会～

９月２９日、「和っしょい、和っしょい、和田っ子　一番星目指せ！Ｆｏｕｒ～」を大会スローガンに、校内体育大会が行われました。全校児童そろっての体育大会は４年ぶりです。熱中症対策やコロナ禍の経験から、午前中の開催、式典の簡素化、応援席での応援の充実等、新しい体育大会の形での開催となりました。

開会式の後、２年生の５０ｍ走からスタートしました。前半は徒競走や全員リレー中心に行われ、最後まで走りきる児童の姿が印象的でした。また、それに合わせて、各赤・黄・青・緑組のテントでは大きな応援の声が聞こえました。後半は学年種目がありました。１年生のダンス付きの玉入れはかわいらしかったです。また、３年生の綱取りは、色ごとの作戦が垣間見え、おもしろかったです。最後は、色別対抗リレーでした。児童が総立ちになるほどの盛り上がりでした。

今年の体育大会は、赤組が優勝しました。閉会式では、児童には、負けてくやしい気持ちは次へのエネルギーになることを伝え、勝っても負けてもノーサイド、お互いのがんばりを認めることの大切さを話しました。

保護者の皆様、温かく応援していただき、ありがとうございました。

校長室から　　「自利利他　～ありがとうは、幸せの始まり～」

先日、全校朝礼の時、児童から私あての感謝の作文を読み上げた中で、「ありがとう」について話をしました。

「ありがとう」の言葉は、仏教の教え「『人の生を享くるは難く、やがて死すべきもの。今、命あるは　有り難し(有ることが難しい)』がもとになっています。今生きている私達は、数え切れない偶然と無数の先祖の計らいで生を受けて誕生したのだから、命の尊さに感謝して精一杯生きましょう。という教えから生まれた言葉で「滅多にないこと＝有り難きこと」に感謝することになったと言われています。

他人から何かしてもらったとき、私たちは自然に「ありがとう」と言います。他人からの気遣いに対する感謝の言葉です。「この世で最も不幸な人は感謝心のない人である」とも言われます。何をしてもらっても、当たり前と思い、感謝の心がなければ、不平不満ばかり出て、幸せを実感することはできません。感謝できる人が幸せなのであり、その感謝を「ありがとう」という言葉で表すと、相手も「喜んでもらえてよかった」とうれしくなります。

これを仏教では**「自利利他（じりりた）」**と言います。自利とは自分の幸せ、利他とは他人の幸せ。自分の幸せがそのまま他人の幸せになり、他人の幸せがそのまま自分の幸せになるということです。

相手が誰であっても、感謝の気持ちをもち続けたいと思います。**「いつもありがとうございます」、と。**